

X線検査ヨード造影剤説明書

高砂市民病院

1) 造影検査について

ヨード造影剤という薬を静脈注射しながら行う検査です。造影剤を使用することで異常の有無や病変の性状、範囲など詳しく描出することができ、より正確な診断を行うことができます。造影剤を注入する際には熱い感じがしますが、一時的であり心配はいりません。

2) 副作用について

近年の造影剤は改良されて副作用が出る頻度は低下し、その程度もより軽度になってきています。しかし体に合わず副作用がでることがあります。そのほとんどは軽症で検査直後(1時間以内)から症状が出る場合が大半ですが、まれに24時間以上経過してから症状がでる場合もあります。

①軽症：かゆみ、吐き気、嘔吐、じん麻疹、紅潮、鼻汁、くしゃみ、のどの違和感など(約100人に1人)

②重症：血圧低下、息苦しさ、意識消失(約1万人に1人)また、極めてまれですが死亡に至った例もあります(40万人に1人)

現在、副作用の発生を予知する方法はありません。体質によってヨード造影剤の投与が出来ない場合がありますので、危険性を減らすために問診をさせていただきます。同意された場合でもいつでも撤回することができます。

※アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が約3倍高いと報告されています。なかでも喘息の方は約10倍高いとされています。また造影剤を使用すると腎臓に負担をかけることがありますのでこのような疾患に該当する方はあらかじめ主治医にご相談下さい。

3) 合併症について

造影CT検査では急速に造影剤を注入するために、血管外に造影剤が漏れることがあります。この場合、注射部位がはれて痛みを伴うこともありますが数日で治癒します。はれや痛みなどの症状が強い場合、処置が必要になる場合があります。

注意事項

※ビグアナイド系糖尿病薬は休薬が必要です。医師の指示に従ってください。

※授乳中の方は検査終了後48時間授乳を避けてください。

※腹部造影検査の方は、3時間前より何も食べないでください。

ただし、お茶・水など(牛乳・乳製品以外)の水分は十分とってください。